



エネルギー業務運営及び工事監理業務委託について

会場整備局

2020年3月19日

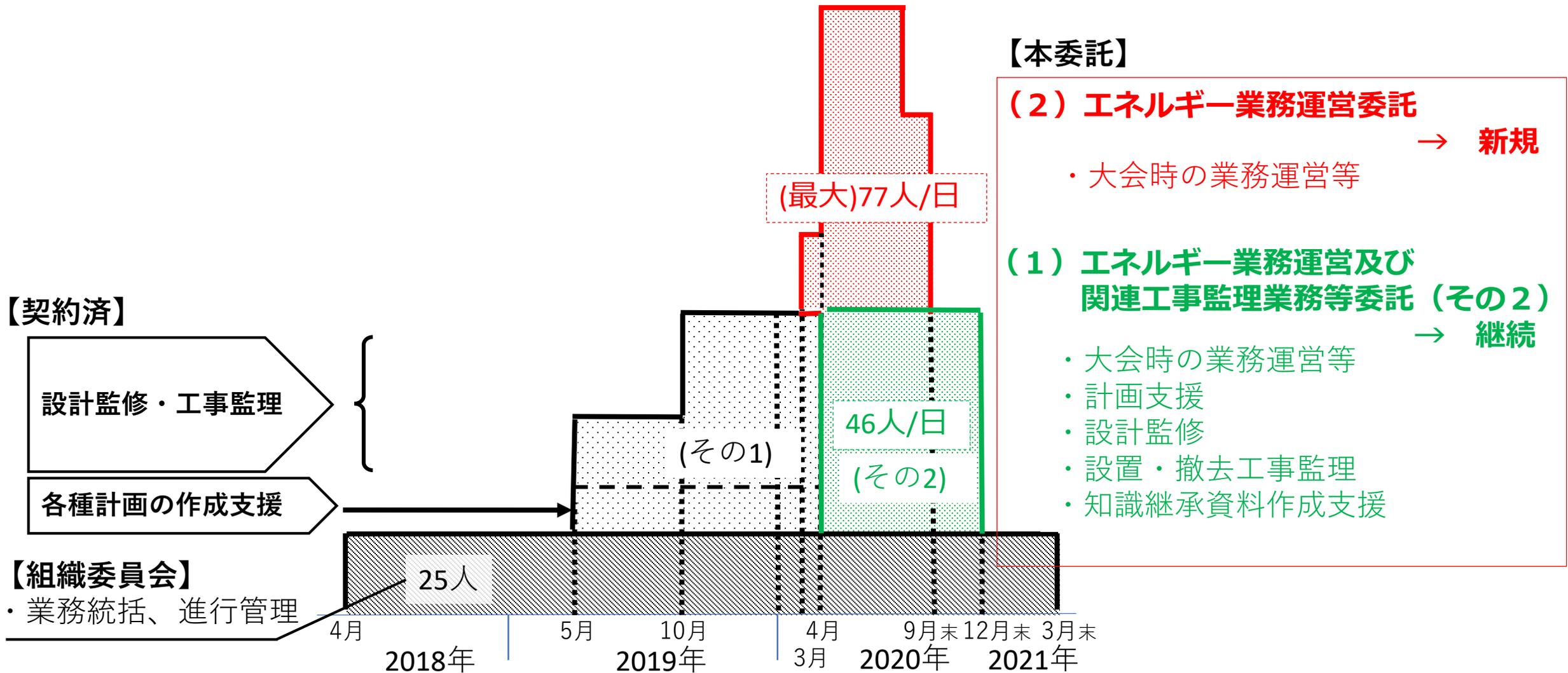
1.審議事項

エネルギーFAの計画・設計業務支援と各会場の仮設電源設備の工事監理等、及び大会時の業務運営を担う委託を発注する。

2.背景

- 2018年度、仮設電源設備を設置・維持管理する仮設電源サービス事業者（Aggreko社）へDB契約を実施。
- 2019年度、仮設電源設備の計画支援・設計監修・工事監理、各ステークホルダーとの調整など会場個別の業務など、エネルギーF Aの業務支援について東電タウンプランニング社へ委託契約を実施。
- 2020年度は、2019年度のエネルギーF Aの業務支援の委託継続に加えて、繁忙のピークとなる大会時のエネルギー業務運営を担う委託が新たに必要となる。

3.NRGに必要な業務量の推移と委託範囲



4-1. 予算・契約内容

(1) エネルギー業務運営及び関連工事監理業務等委託（その2） → 継続発注

① 執行見込額

- 業務毎必要人工の積み上げと国交省単価、東京都積算基準により算出。

② 予定調達方式

- 契約方法は調達管理委員会にて審議

(2016年度から「エネルギー供給検討業務委託」・「エネルギー業務運営及び関連工事監理等業務委託」を受託し、業務運営や設計・工事監理のノウハウを有する、東電タウンプランニング（株）と特別契約することとしたい)

③ 予定契約期間：2020年4月～2020年12月末

4-2. 予算・契約内容

(2) エネルギー業務運営委託 → 新規発注

① 執行見込額

- 業務毎必要人工の積み上げと国交省単価、東京都積算基準により算出。

② 予定調達方式

- 契約方法は調達管理委員会にて審議
(エネルギー業務運営のノウハウを有する、東京電力HD(株)との特別契約
としたい)

③ 契約期間：2020年3月～2020年9月末

【参考資料】

「エネルギー業務運営委託」の特命理由（東電HD）

- 東京2020大会で設置する電力インフラ、高圧・低圧の電気設備等について、組織委員会にて運用する。
- このため、会場のエネルギー業務運用に関しては、電力会社の電力インフラと会場内の高圧・低圧の電気設備等の両方の知識を有し、トラブル対応に関する知識や経験が豊富であることが必要である。
- IOCからも同様にアドバイスを受けている。
- これらの条件を満たしているのは、『東京電力HD(株)』と『東電タウンプランニング(株)』の2社である。
- 2019年度業務委託を契約している『東電タウンプランニング(株)』より、2020年度について現契約（46人）以上のリソース確保ができないとの回答があるため、『東京電力HD(株)』の1社となる。